

三菱パイプ用ファン（壁据付専用）  
居間・事務所・店舗・トイレ・洗面所用

形名	電源仕様	機能
V-20PXS5	電源プラグ	電気式シャッター付
V-20PXSD5	速結端子	
V-20PXSJ5	電源プラグ	電気式シャッター付 引きひもスイッチ付

据付説明書

販売店・工事店様用

据付終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・専門の工事店様が実施してください。（間違った据付け、工事は、故障や事故の原因になります）
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- 用途にあった場所に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。（故障の原因になります）
- 形名によって据付方法が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材（屋外フードなど）を据付けてください。
- 雨水浸入防止のため外風の吹き付けの強い場所ではシステム部材（耐外風高性能フードなど）を据付けることをおすすめします。
- 引きひもスイッチを備えていない製品の運転・停止にはシステム部材または市販のコントロールスイッチが必要です。
- 接続パイプは市販の塩化ビニル管（VU管（呼び径200mm））、または銅板管（内径200mm）のいずれかをご用意ください。  
※VP管には据付けできません。

# 1. 安全のために必ず守ること

据付けを始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しておりますので、よくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

警告	注意
<p><b>水ぬれ禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因。</li> </ul>	<p><b>禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●高温（40℃以上）になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない 火災の原因。</li> </ul>
<p><b>分解禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。</li> </ul>	<p><b>風品・シャワー室での使用禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●浴室など湿気の多いところには据付けない 感電・故障の原因。</li> </ul>
<p><b>指示に従う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが、電氣的に接触しないよう据付ける 漏電・発火の原因。</li> <li>●交流100Vを使用する 火災・感電の原因。</li> </ul>	<p><b>指示に従う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電・火災の原因。</li> <li>●部品の据付けは確実に 落下によるけがの原因。</li> <li>●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に 落下によるけがの原因。</li> <li>●据付けの際は必ず手袋を着用する 着用しないとけがの原因。</li> <li>●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。</li> <li>●据付け後、長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。</li> </ul>

# 2. 据付け前のお願い

- 高温（40℃以上）になるところに据付けしないでください。（故障の原因になります）
- 塩害、温泉害の発生している場所には据付けしないでください。（故障の原因になります）
- 本製品は壁据付専用です。天井には据付けしないでください。（シャッターが開かないため換気風量が確保できなくなります。また、V-20PXSJ5は引きひもスイッチの操作ができなくなります）
- 燃焼機器の排気口の近くには据付けしないでください。（燃焼機器から排出された排気ガスが含まれた外気が、強風のときなどに室内に侵入すると、臭気などの原因になります）
- システム部材（屋外フードなど）は壁厚にあったものを選んでください。（壁厚により据付けられないものがあります）
- 壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。
- アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。（振動の原因になります）
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

# 3. 各部のなまえと外形寸法図

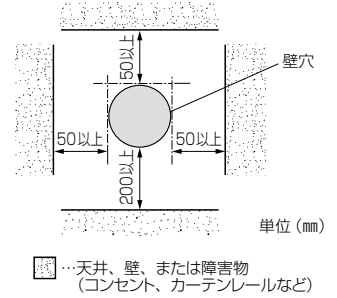
⇒梱包箱をご確認ください

# 4. 据付方法

## 1 据付け前の準備

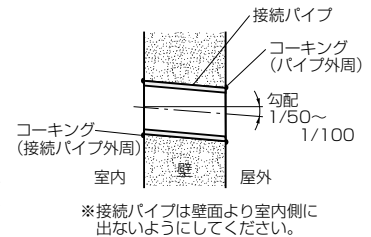
### 壁穴への接続パイプの固定

1. 据付場所を決めて穴をあける。
    - 右図の壁穴位置をご確認ください。
    - 接続パイプには塩化ビニル管（VU管）と銅板管があります。壁厚に応じて接続パイプの長さを決めてください。
    - 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。
- お願い**
- 据付位置は右図の位置になるようにしてください。  
右図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合があります。



### 2. 壁穴に接続パイプを確実に固定する。

- 接続パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
- 速結端子タイプは電源電線を室内に引き込んでから（電気工事参照）行ってください。
  - 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
  - 室内への水浸入を防ぐため、接続パイプは室内壁面まで差し込んでください。



- お願い**
- 接続パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。

